

## 1.概要

## (1) 募集期間

令和8年1月14日～2月3日

## (2) 意見提出者

5人 14件

## 2.ご意見とそれに対する市の考え方

※ご意見について一部要約等を行っている場合があります。

No.	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方
1	鶴岡市過疎地域持続的発展計画案は、全て網羅されて特に意見ありません。温海地域の魅力は、自然に恵まれ住んでいる人柄が良いところです。全国的に、これからますます高齢化が進み、移住などは見込めなく、いかに定住できるかだと思います。観光は、新道の駅や温泉施設の整備をしても一時のもので、観光客がここに移り住むことは望めない。地元の医療機関の充実、バス路線等の公共交通機関を整備するなど、この地域にずっと暮らせるようにと思っています。	ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見を参考にして、これからの市政を検討してまいります。
2	朝日地域は過疎地域に指定されるように人口の減少が著しい。資料の中の「現在の課題」が明確に記載されているので、それに沿った形での具体策を一つ一つ立てて、実施して、結果を検証し、良い結果が得られなければ、対策を講じるしかないとと思われる。短期間で結果が出れば良いが、それは難しいと思うので、ある程度の期間設定で行えればいいかと思う。朝日地域からの人口流出を止めなければ、コミュニティの維持も難しくなるので、様々な事業で行うアンケート調査などに基づいた対策の実施が急務であると考える。	ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見を参考にして、これからの市政を検討してまいります。
3	1.基本的な事項 (5) 地域の持続的発展のための基本目標について  基本目標1,2,3,4を着実に実行する為、現時点で庄内が好きで他の地域から結婚・移住してきた方々と話す機会を設け、地元住民、市職員との意見交換が第一歩だと思います。	ご意見ありがとうございます。 移住希望者や移住者、帰省してきた人、地元住民等が集まって、交流・意見交換する移住者交流会やディスカバツるおかなどのイベントを実施しておりますので、いただいたご意見を参考にしながら、これからも意見交換の場づくりを継続してまいります。
4	3.産業の振興 (7) 観光について	ご意見ありがとうございます。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光のところに湯殿山スキー場の記述が見当たらなかった。鶴岡を代表する冬の観光スポットとしてぜひ取り上げていただきたい。克雪の対策としての扱いでスキー場をイメージしていると感じた。もう少しスキー場振興に特化した記述が欲しい。</li> <li>・せっかくの資源、どこにでもあるものではないし、比較的安定して降雪がある湯殿山スキー場をもっと盛り上げてもらいたい。</li> <li>・宿泊施設の問題があるが、民泊事業や空き家の活用、車中泊客のためにシャワールームを道の駅に設けるなどどうか。</li> <li>・グリーンシーズンの誘客としてマウンテンバイクの練習場として、スキー場内や近場の山を活かせないか？体力トレーニングに活用するスポーツもあるようだし、教育の振興の場面でも大いに活用してもらいたい。</li> </ul>	<p>スキーをはじめとするアクティビティについては、テーマ観光や体験型観光などに集約して表現しております。冬季間に限らず誘客に取り組んでまいりたいと考えておりますので、「四季に応じた」という言葉を追加し、通年を通して観光振興・誘客を推進していることを強調させていただきました。</p>
5	<p>5.交通施設の整備、交通手段の確保 (1) 市道②その対策について</p> <p>「日本海沿岸東北自動車道へのアクセスとなる国道・県道・市道の改良整備」について、観光・流通のためだけでなく、地域住民の生活道路として、また災害時の道路寸断による孤立化を防ぐという点でも評価しつつ整備を進めていただきたいと思います。(特に国道345号関川～平沢間※冬期間通行止め、平沢～鼠ヶ関間※路面傾斜等による冬期スリップ事故多数)</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>県管理国道の国道345号関川～平沢間は、本市として地元負担をしながら事業に着手していますが、引き続き県などに対して重要事業要望などで要望を継続してまいります。また、345号平沢～鼠ヶ関間の冬期の通行について、支障が生じないように県に伝達いたします。</p>
6	<p>5. (3) 交通②その対策について</p> <p>温海地域（とりわけ中山間地域）の高校生およびその家族の負担は大きく、高校進学をきっかけに旧市内へ引っ越したご家族や冬期間限定で旧市内に住んでいるご家族もいると聞いている。経済的な支援だけではなく、遠隔地からも通学が可能になるような交通手段の支援もお願いしたい。また、乗合タクシーやデマンド型交通について、学生も利用しやすい仕組みに改善していただければと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本市では高校生等の通学費を支援する事業を令和6年度より全市に拡大し実施し、通学に係る子育て世帯の負担軽減を図っているところであります。</p> <p>本市内のバスについては利用者のニーズや他交通機関との乗り継ぎ等を考慮して、地域や交通事業者と協議しながら、経路や時間帯の変更等対応しております。</p> <p>いただいたご意見を参考にして、協議会等で検討してまいります。</p>
7	<p>5. (3) (イ) 生活交通について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔地に居住している高校生への通学支援、負担の平準化に大変有難く感謝しているとの声を聞いて</li> </ul>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本市では高校生等の通学費を支援する事業を令和6年度より全市に拡大し実施し、通学に係る子育</p>

	<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、公共交通機関利用の確保という点では、朝のバス時間が早過ぎる、帰りの最終便の時間が部活や学校の活動で間に合わないので乗れない、という声があり、もう少し時間を調整してくだされば乗る人が増えるのではないかと思う。</li> <li>・各家庭での送迎では、ドア to ドアとなり、体力低下、遠隔地に住む高校生が市街地を歩く機会も減り、知る機会も失うことにも繋がる。</li> <li>・仕事の関係などで土日の試験や部活動の送迎に苦労している。対策としてデマンド型交通、あさひバスを市街地まで走らせるなどどうか。</li> <li>・少子化でただでさえバスに乗る子供の数も減り、運行会社の負担も理解できるが、このような生活交通の格差が子供たちの通学・部活動選択の一因にもなりかねないと考えるので、至急にご検討頂きたい。</li> </ul>	<p>て世帯の負担軽減を図っているところであります。</p> <p>本市内のバスについては利用者のニーズや他交通機関との乗り継ぎ等を考慮して、地域や交通事業者と協議しながら、経路や時間帯の変更等対応しております。</p> <p>いただいたご意見を参考にして、協議会等で検討してまいります。</p>
8	<p>5. (4) 目標値について</p> <p>路線バス及びデマンド交通の路線数が基準値・目標値ともに 30 路線なっていますが、これは現状を維持することが目標ということによろしいのでしょうか？目標値は評価の基準値になると考えますが、稼働率や乗車率等は目標値には設定されないのでしょうか？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>路線バス及びデマンド交通の路線数の基準値及び目標値につきましては、高齢化等に伴う運転手不足が深刻な現状においても、各地域から市街地までのアクセスを確保するため、現在の路線数を維持していくことを目標に 30 路線と設定しております。なお、その他の目標値については、各交通事業者等とも協議のもと鶴岡市地域公共交通計画において設定しております。</p>
9	<p>6.生活環境の整備 (9) 老朽化施設②その対策について</p> <p>温海ふれあいセンターは平成元年に竣工し地区 31 年以上が経過しています。鉄筋コンクリート造ですが、経年劣化に加え塩害による鉄筋の爆裂が進み一部壁面等の落下や欠損も進んでいます。建物自体の修繕には数千万～億単位の費用がかかるため何もできていないのが現状です。建築基準法や消防法に抵触する可能性のある修繕箇所についても修繕ができておらず、修繕箇所は年々増加する一方となっています。市内他の地域もおなじような状況の施設は多く、長寿命化にあてられる予算の確保が難しい現状で複合化・集約化・廃止等が検討されるとは思いますが、地域格差のは正という観点から住民サービス</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本文に記載のとおり、老朽化施設の対策は、公共施設の老朽化によって安全性や利便性の低下につながらないよう、少子高齢化や行政需要の変化にも対応しながら、安心で快適な生活環境の維持を目指してまいります。</p> <p>いただきましたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

	や利便性の低下にならない形で各施設評価検討いただければ幸いです。	
10	8.医療の確保（1）地域医療について 温海地域においては診療施設自体少なく、現存の医院やクリニックは大変貴重な存在です。過疎化が進む地域における民間医療の確保（存続）については今回の計画には含まれないのでしょうか？	ご意見ありがとうございます。 ご意見いただきましたとおり、地域の診療所は、かかりつけ医としての役目に加え、訪問診療など在宅医療の担い手であり、さらには学校医や乳児健診、休日・夜間診療所に従事するなど、多岐にわたり地域の医療を支えており、地域の診療所の減少は、市民生活への影響が大きいものあります。 民間医療の確保（存続）については、医師の高齢化等の理由による診療所の閉院が近年増加しており、安定的な地域医療の提供のためには、地域の診療所の医師確保が極めて重要な課題となっております。 その医師の確保につきましては、県において山形県医師確保計画を策定し取り組んでいるところであります、本市におきましては、県に対し、上記計画に基づき医師確保対策を講じ、医療体制の充実・強化を図るよう、重点事項として要望しているところでございます。 過疎計画は、温海地域、朝日地域を含めた市全体の計画となっており、医療の確保（地域医療）についても、市全体の取組として進めてまいります。
11	9.教育の振興（2）生涯学習②その対策について 施設機能の充実とありますが既存施設の老朽化が著しく、どの施設も維持管理に時間も費用もかかっており最低限の機能を保つのに精一杯です。施設機能の充実に十分か予算が確保できるのか疑問です。	ご意見ありがとうございます。 鶴岡市公共施設等総合管理計画に基づき、法定点検及び、定期的な点検や診断を実施し、施設の安全性や機能性の維持向上に努めています。
12	9.（3）スポーツ①現況と問題点（イ）地域の活力となる競技スポーツの振興について 地域移行で学校から離れたところでスポーツ活動をする子ども達もいるかと思いますが、そういった団体（スポ少・スポーツクラブ・その他スポーツ団体）との連携は検討されるのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 各スポーツに取り組む選手の競技力向上には、学校だけでなく子どもたちにスポーツの機会を提供している各競技団体等との連携が重要と考えております。また、競技水準の高い大会を誘致し、子どもたちを含む地元選手がトップレベルの選手の試合を間近に見られる環境を整備し、競技意識の高揚にもつなげてまいりたいと考えております。
13	9.（3）②その対策（エ）地域にかかるスポーツ環境の充実について	ご意見ありがとうございます。 生徒が継続的にスポーツに親しむことができるよ

	<p>スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブのことだけが記載されています。中学校の部活地域移行において、スポーツクラブでもスポ少でもないスポーツ団体が組織されている可能性もあると思いますが、そういういた団体への支援はないのでしょうか。</p>	<p>う、中学校部活動の地域移行・地域展開のために立ち上げた団体（総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、各競技団体以外の民間クラブ等のスポーツ団体）に対しましても、中学校の学校体育館施設においての熱中症予防対応や施設使用料の減免等の支援を行ってまいります。</p>
14	<p>9. (4) 目標値について  「生涯学習講座に参加した市民の満足度」で基準値(R6) 84.3%とありますが、こちらの数値はどこから来ているのか教えていただきたいです。  また、目標値を参加者の満足度にしているのは他に評価方法がないからなのでしょうか？『学習機会の拡充度』や『市民の生涯学習への取り組み率』などを評価に入れてもいいのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。  中央公民館と中央公民館女性センターでは、受講者の声を今後の講座開設に活かすため、以前から受講者アンケートを実施しております。その項目の中に「満足度」を設け、市民ニーズにあったものであるかの評価としており、これを高めていくことを目標としているものです。このため、目標値は受講者の満足度に設定しています。  なお、今回いただいたご意見については今後の参考とさせていただき、市民学習の向上に努めてまいります。</p>